

2(2) その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付けなど。(※評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

特筆すべき教育活動

該当なし

特筆すべき研究活動

平成19年度に仙台知的クラスター創成事業「先進予防型健康社会創成クラスター事業」(平成19年度～平成23年度：委託費総計27億5716万円)に採択された。本事業は、高齢化が特に顕著な東北地域において、産学官の連携により予防医療・自立的健康管理を推進し、全ての人が健康な人生を送ることができる社会の実現を図り、サービス開発・機器開発に関する産業集積などを目的としたものであり、平成19年度は、事業構想計画の立案および研究推進体制の構築作業を行うとともに遠隔医療用の携帯型生体センサおよびデータベース・ラッピングエージェントシステムの作成などを実施し、本事業の推進に貢献した。

特筆すべき社会貢献活動等

「高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集」は、逐条解説付き規程45編を収録し600ページ強である。本規程集の取り纏めにあたり、ネットワーク研究部曾根教授が主査となり、大学、企業、政府および法曹界からの43名が参加する国立情報学研究所・国立大学等における情報セキュリティポリシー策定作業部会及び電子情報通信学会・ネットワーク運用ガイドライン検討ワーキンググループの双方の研究と策定を主導した。また、情報セキュリティは広範な専門知識が求められ取り組みが難しい課題であり、活用可能で詳細なサンプル規程集が必要とされていたことから、この刊行を実現させたことの社会的な貢献は大きく、わが国全体の情報セキュリティの向上に寄与した功績が認められ、平成20年度情報セキュリティの日功労者として内閣・情報セキュリティ政策会議議長(内閣官房長官)から表彰され、代表として首相官邸にて受賞した。また、刊行と並行し、文部科学省情報セキュリティセミナー(19年度に2回)、国立情報学研究所研修会(19年度に2回)や他大学において、広く成果の解説と啓発のための講演を依頼され実施した。